

売上高

1,483億円 前期比 **2.0%増**

引き続き後発医薬品使用促進策の普及および浸透のマイナス影響が想定されるものの、「グラクティブ錠」「リカルボン錠」「リバスタッチパッチ」などの主要な新製品が引き続き伸長するものと見込んでおり、次期の売上高は前期比29億円(2.0%)増の1,483億円を予想しています。

営業利益

279億円 前期比 **12.6%減**

主要新製品(導入品)の売上伸長に伴う売上原価の増加と、開発ステージの進展やライセンス費用の増加および円安の影響などによる研究開発費の大幅な増加が見込まれます。また、その他の販売費及び一般管理費も増加する見込みであり、次期の営業利益は前期比40億円(12.6%)減の279億円を予想しています。

経常利益

290億円 前期比 **14.6%減**

低金利の継続による営業外収益の減少と営業外費用の増加により営業外収支が減少すると見込んでおり、次期の経常利益は前期比50億円(14.6%)減の290億円を予想しています。

当期純利益

204億円 前期比 **15.4%減**

税金費用は減少するものの、平成25年3月期に計上した投資有価証券売却益を見込んでいないことなどにより、次期の当期純利益は前期比37億円(15.4%)減の204億円を予想しています。